

第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開

1 ヨーロッパ文化との接触と国内統一

3 桃山文化（教科書 P. 110～111）

▶豪壮華麗な文化 [p. 110]

豪壮華麗な文化…戦国大名や豪商の気風と経済力を反映

絵画

城郭建築…安土城・大坂城・伏見城・[]などの天守閣,

[]を取り入れた御殿

寺社建築…[]・[]・西本願寺書院・

都久夫須麻神社本殿

絵画

[]や水墨画の[]…

[]『唐獅子図屏風』, []『松鷹図』,

[]『山水図屏風』, []『松林図屏風』など

▶茶道と芸能 [p. 110]

茶道

[]が[]を大成

有田焼・薩摩焼・萩焼の創始（朝鮮から連れ帰った陶工による）

茶道とともに華道や香道も発達

芸能

[]がかぶき踊りを創始

浄瑠璃・隆達節も流行

人々の生活

住居…[]が上流の邸宅として普及

衣服…小袖が普及, 麻に代わり木綿が普及

食事…1日3度, 醤油や砂糖の使用

▶ [] [p. 111]

宣教師によりヨーロッパの医学，天文学，地理学，航海術，造船術が伝来

〔 〕 …ローマ字による活字印刷

〔 〕 など描かれる

たばこ・パン・カステラ・てんぷら・カルタ・眼鏡・時計・ボタン・メリヤスなども伝来